

プロスタグランジンF_{2α}製剤劇 **パナセラン[®]・F液**劇 **パナセラン[®]・Hi****Panacelan[®]・F Solution , Panacelan[®]・Hi**

ジノプロストは、一般にプロスタグランジンF_{2α}として広く知られ、人・牛・豚・羊などの精液や臓器等、生体内各部から見いだされる不飽和脂肪酸です。

〔成分・分量〕

パナセラン・F液は、1 mL中ジノプロスト2 mgを含有し、パナセラン・Hiは、1 mL中ジノプロスト5 mgを含有する。

〔効能・効果〕

1) 牛

- (1) 性周期の同調
- (2) 黄体退行遅延に基づく卵巣疾患の治療
- (3) 卵巣中の黄体退行作用による子宮疾患の治療
 - ①子宮蓄膿症
- (4) 卵巣中の黄体退行作用による妊娠期疾患の治療
 - ①長期在胎, ②ミイラ変性胎子及び胎子浸漬
- (5) 子宮平滑筋の収縮作用による産後疾患の治療
 - ①胎盤停滞, ②悪露停滞症

2) 馬

- (1) 性周期における黄体期の短縮
- (2) 黄体退行遅延に基づく卵巣疾患の治療

3) 豚

- (1) 無発情の治療（黄体の退行遅延ないし遺残に基づくもの）
- (2) 分娩誘発

〔用法・用量〕

1) 牛

(1) 子宮内注入法

①性周期の同調

通常下記により1回投与する。

投与部位	投与量
黄体形成卵巣側子宮角深部	ジノプロストとして 2 mg
黄体形成卵巣側子宮角中央部	ジノプロストとして 3～4 mg

②卵巣疾患の治療

通常下記により1回投与する。症状により適宜増減する。

投与部位	投与量
疾患卵巣側子宮角深部	ジノプロストとして 6 mg

(2) 注射法

①性周期の同調

通常ジノプロストとして12～30mgを1回筋肉内に注射する。

但し、胚（受精卵）移植のための性周期の同調に用いる場合は、ジノプロストとして25～30mgを1回筋肉内に注射する。

②黄体退行遅延に基づく卵巣疾患の治療

通常ジノプロストとして12～30mgを1回筋肉内に注射する。

③卵巣中の黄体退行作用による子宮疾患の治療

（子宮蓄膿症）

通常ジノプロストとして30mgを1回筋肉内に注射する。

④卵巣中の黄体退行作用による妊娠期疾患の治療

（長期在胎, ミイラ変性胎子及び胎子浸漬）

通常ジノプロストとして20～30mgを1回筋肉内に注射する。

⑤子宮平滑筋の収縮作用による産後疾患の治療

（胎盤停滞, 悪露停滞症）

通常ジノプロストとして30mgを1回筋肉内に注射する。

2) 馬 黄体期の短縮及び卵巣疾患の治療

通常ジノプロストとして3～6 mgを1回筋肉内に注射する。

3) 豚

(1) 無発情の治療

通常ジノプロストとして6 mgを1回筋肉内に注射する。

(2) 分娩誘発

母豚の妊娠末期（妊娠112～113日）に通常ジノプロストとして5～10mgを1回筋肉内に注射する。

〔使用上の注意〕

【一般的注意】

- (1) 用法・用量を厳守すること。
- (2) 本剤は、効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- (3) 本剤は要指示医薬品であるので獣医師の処方せん・指示により使用すること。
- (4) 本剤投与後第1回目に搾取した牛乳は、食用を目的として出荷等を行わないこと。

【使用者に対する注意】

- (1) 妊娠中の女性、喘息患者、気管支その他呼吸器系に障害のある者に、注射作業を行わせないこと。

【対象動物に対する注意】

1 制限事項

- (1) 本剤を妊娠している牛・馬・豚に用いると流産することがあるので、下記の治療に用いる場合を除き受胎していないことを確認の上使用すること。
牛：長期在胎，ミイラ変性胎子及び胎子浸漬，胎盤停滞
豚：分娩誘発
- (2) 牛の性周期の同調に用いる場合は、排卵後5～16日の期間の黄体期にある牛に対し使用すること。
- (3) 馬の黄体期の短縮に用いる場合は、排卵後5～13日の期間の黄体期にある馬に対し使用すること。
- (4) 牛の長期在胎に用いる場合は、分娩予定日を1週間以上経過した牛に対し使用すること。

2 副作用

- (1) 馬に投与した場合、一過性の発汗を認めることがある。

3 適用上の注意

- (1) 本剤は示された上限量を超えると発情徴候が微弱になる場合があるので注意すること。
- (2) 豚の分娩誘発に用いる場合は、特に妊娠期間に留意し子宮内及び静脈内に投与しないこと。
- (3) 牛の胎盤停滞に用いる場合は、胎子娩出後12～24時間の間に投与することが望ましい。
- (4) 牛の子宮内注入の場合には、子宮感染の発生を予防するため本剤投与に使用する器具は十分に消毒すること。
- (5) 牛の長期在胎に用いる場合に、胎子娩出後に胎盤が停滞することがあるので注意すること。

【取扱い上の注意】

- (1) 本剤（バイアル）を分割使用する場合は、速やかに使用すること。

【保管上の注意】

- (1) 小児の手の届かないところに保管すること。
- (2) 直射日光，高温及び多湿を避けて保管すること。

有効期間：3年（使用の期限は容器および外装に記載）

〔包装〕

- | | |
|--------------------------------|---|
| ● パナセラン・F液（1 mL中ジノプロスト 2 mg含有） | 6 mL×5（バイアル入り） |
| ● パナセラン・Hi（1 mL中ジノプロスト 5 mg含有） | 3 mL×5（バイアル入り）
5 mL×5（バイアル入り）
60 mL×1（バイアル入り） |

製造販売元



Meiji Seika ファルマ株式会社

東京都中央区京橋 2-4-16

製造元



第一ファインケミカル株式会社

富山県高岡市長慶寺530番地

(2011年2月改訂)

087-C0